

たいにい・ぽっくすつうしん

Vol.45

平成30年
12月11日

“自己決定”から“意思決定”に

12月だというのに、暖かい風が吹き、九州では夏日を観測しました。「今年の冬は暖かかったね」という感想になるのか、毎年同じような気候になっていくのか、気になるところです。

近年の福祉では、“自己決定”という言葉から“意思決定”という言葉に置き換えられ強調されるようになりました。“意思決定”の重要性を考えた際、以前の職場の会議で、「(利用者が)寝たいのであれば、執拗に私たちが起こす必要はない。本人の自由だ」と発言する職員に対し、「それが本人の自由で権利なら、私たちの仕事はなんなのだろう」と投げかけた上席の言葉を思い出します。

無自覚であっても先を見通した目標や考え方が“意思決定”であり、“意思決定”に基づいた“自己決定”であるかが重要なポイントになります。「私は1日の大半を寝て過ごす」というのは自己決定ですが、その自己決定は、本人(利用者)の意思決定に基づいた選択で、自分にとってだけでなく周囲の社会的環境を含めて最善の利益になるかということを支援者は考えなければなりません。

「学校に行きたくない」「たいにいに行きたくない」「仕事に行きたくない」も同じでしょう。自分のことは自分で決めること、それを尊重しながら支援する。一見矛盾した行為が求められるので、支援者は考えに考え抜かなければならないのです。

たいにいのようす



色とりどりの秋。ちぎった紙を台紙に貼って、キノコ、柿、さつまいも、銀杏、どんぐりを作りしました。



さつまいもを叩いて潰して。芋もち作りは男子チームと女子チームに分かれてやりました。



レジンでオリジナルキーホルダーを作りました。完成後のみんなの笑顔が印象的です。

新スタッフの挨拶



はじめまして。
11月から働かせていただいています、千葉悠希です。以前は、障がい者の日中一時支援・移動支援をしていました。これまでの経験が活かせればと思います。至らない点もあると思いますが、よろしくお願いします。

1月の予定

ズーラシア、麻溝公園

1月 休業日

1日 2日 3日

5日 6日

12日 13日 14日

19日 20日

26日 27日

